

# 内科医 つれづれ草

高山浩一

⑩

皆さんも定期的に健康診断を受けておられると思います。学生なら学校で、働いている方は職場で半ば強制的に受けさせられますし、リタイアした後も自治体が住民健診を呼び掛けていますから、病気の早期発見のために受けている方も多いと思いますし、少々高額でも全身の精密検査に近いドック健診を受けている方もおられるでしょう。

われわれも医者の不養生にな

## 何のための健診？

知らないよう、勤務先の病院から健診を受けるよう強く指導を受けています。健診を受けるたび、なかなか減らない体重とおなか周りのサイズに嘆息するのが常ですが、一方で私は胸部の精密検査をする側でもあり、1次健診で胸のエックス線写真の異常を指摘された方を主に診ています。医療機関は健診結果とともに、精密検査を受けるようお手紙を送っていますから、皆さんその手紙を持って来院されます。その際には過去の健診結果を必ず確認するのですが、中には1年前の健診で既に異常を指摘されている方がいます。

## 精密検査受けるべき

健診を受ける方は基本的に健康意識の高い方が多いはずですが、ところが異常を指摘されているにもかかわらず、精密検査を受けない方にとどき遭遇し



イラスト・山本重也

ます。そこで患者さんに問診する中で、どうして前回精密検査を受けなかったのですか？とお聞きするのですが答えはさまざまです。「仕事が忙しくて検査を受ける時間がなかった」とのお答えは多いですが「かかりつけの先生に診てもらっているから大丈夫だと思った」という理由もあります。かかりつけ医を持つのはよいことです。ただし専門分野はそれぞれ異なりますので、肺の異常であれば、やはり呼吸器を専門にしている医師に診ていただきたいと思います。医療の世界も餅は餅屋です。

また、数は少ないですが「がんだったらどうしようと思うと怖くて」という方や、逆に「症状もないし健康には自信があったから」という方もおられます。両方とも、それなら何のために健診を受けたのですか？と喉まで出かかった言葉をのみ込んで、精密検査の手続きを進めています。もし肺の異常ががんであった場合、1年の診断の遅れは文字通り致命的であり命に関わる問題です。いい大人なんだから精密検査を受けないのは本人の責任だとして済ますことは簡単です。しかし、それでいいのだろうかとか割り切れない気持ちになるのも事実です。取り返しのつかない状態にまで進んだ肺がんのエックス線写真を前に暗然とした気持ちになります。

(京都府立医科大学教授)